

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・定期的に漢字の小テストを行い、新出漢字及び既習漢字の復習を継続して取り入れた。その結果、漢字の学習に継続的に取り組む生徒が増えた。
- ・日常的に読解のポイントを学ぶ機会を増やし、文章の読み方を身に付ける取組をした。その結果、一人でも工夫して読解する生徒が増えた。
- ・言語活動を多く取り入れ対話的学習を行う中で、自分自身の考えをまとめ、言語化するための指導を取り入れた。その結果、自分の考えを相手に伝える能力が向上した。

(2) 課題

- ・国語への関心や意欲を高められるよう ICT 教材などを用いて工夫する必要がある。
- ・日常的に読解のポイントを学ぶ機会を引き続き行い、文章の読み方を身に付けるとともに、苦手意識を軽減させる必要がある。
- ・自分の考えを言語化すること自体が苦手な生徒が多い。また、相手を意識して、論理的に文をまとめるなどの学習も苦手である。言語活動を多く取り入れ対話的学習を行う中で、自分自身の考えをまとめ、言語化するための指導も取り入れる。また個人で考える時間をしっかり確保し、言語活動にきちんと参加できる態勢を整えさせる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値を下回っている。		
第2学年	目標値をやや下回っている。	目標値をやや上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。 (第2学年時)	目標値をやや下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。漢字を書く力、文章を書く力を向上させる必要がある。	目標値をやや上回っている。話す力、聞く力を向上させる必要がある。文章の内容を読み取る力を向上させる必要がある。	目標値を下回っている。記述に対する力と意欲を向上させる必要がある。資料から読み取ったことを書く力を向上させる必要がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 漢字を読む力、書く力を向上させる必要がある。	目標値をやや下回っている。 話の内容を捉え、自分の考えをまとめる力を向上させる必要がある。	目標値を下回っている。 記述に対する力と意欲を向上させる必要がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値をやや下回っている。 漢字を読む力、書く力を向上させる必要がある。	目標値を下回っている。 自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫する力を向上させる必要がある。	目標値を下回っている。 記述に対する力と意欲を向上させる必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字学習を習慣化させるために、テストを定期的に行う。 ・基本的な部分を繰り返し学習する機会を設け、基礎的な力を身に付けさせるようにする。	・読む力を向上させるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、読解力を養う。 ・表現力を向上させるために言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。 ・定期的に文章を書く機会を設け、自分の思いや考えを文章にして書く力を身に付けさせる。	・主体的に学習に取り組めるよう、毎時間目標の提示を行う。 ・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。 ・思いや考えを伝え合おうとする態度を養うために、ペアワーク、グループ学習を授業に取り入れる。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字学習を習慣化させるために、テストを定期的に行う。 ・文法の学習を行い、わからないところを互いに教え合う機会を設ける。 ・基本的な部分を繰り返し学習する機会を設け、基礎的な力を付けていく。	・読む力を向上させるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、定着させる。 ・表現力をつけるために、言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。 ・定期的に文章を書く機会を設け、書き方を定着させる。	・言語活動を通して、互いに伝え合う面白さや楽しさを感じさせ、主体的に学ぶ意欲を高める。 ・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字学習を習慣化させるために、テストを定期的に行う。 ・文法の学習を行い、わからないところを互いに教え合う機会を設ける。 ・基本的な部分を繰り返し学習する機会を設け、基礎的な力を付けていく。	・読む力を向上させるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、定着させる。 ・表現力を向上させるために、言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。 ・定期的に文章を書く機会を設け、書き方を定着させる。	・言語活動を通して、互いに伝え合う面白さや楽しさを感じさせ、主体的に学ぶ意欲を高める。 ・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。